【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【公開番号】特開2016-100962(P2016-100962A)
【公開日】平成28年5月30日(2016.5.30)
【年通号数】公開・登録公報2016-033
【出願番号】特願2014-235462(P2014-235462)
【国際特許分類】
*Ｈ０２Ｈ　3/16　(2006.01)*
*Ｈ０２Ｊ　3/38　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｈ　3/16　Ｂ
Ｈ０２Ｊ　3/38　１３０

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月1日(2017.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
太陽光発電システムの地絡電流を検出する電流検出部での検出結果に基づいて、前記太陽光発電システムでの地絡の有無を判定する地絡検出回路と、
連系運転のときと自立運転のときで、前記地絡検出回路における地絡の判定基準を変更する制御を行う制御部と、
を備えることを特徴とする地絡検出装置。
【請求項２】
前記地絡検出回路は、前記自立運転のときには、前記連系運転のときよりも、前記地絡電流に対して地絡を判定する際の検出感度を高く設定する、
ことを特徴とする請求項１に記載の地絡検出装置。
【請求項３】
太陽光発電システムの地絡電流を検出する電流検出部での検出結果に基づいて、前記太陽光発電システムでの地絡の有無を判定する地絡検出回路と、
自立運転のときは、地絡電流を交流成分および直流成分に分離し、前記交流成分から求めた実効値に重み付けをした値および前記直流成分から求めた平均値を用いて地絡の判定を行う制御部と、
を備えることを特徴とする地絡検出装置。
【請求項４】
前記太陽光発電システムの運転モードについてユーザによる連系運転または前記自立運転の選択を受け付ける選択部をさらに備え、
前記制御部は、前記選択部からの通知により、前記太陽光発電システムの運転モードを前記連系運転または前記自立運転に切替える
ことを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の地絡検出装置。
【請求項５】
前記制御部は、交流系統が通電時には前記太陽光発電システムの運転モードを連系運転に、前記交流系統が停電時には前記太陽光発電システムの運転モードを前記自立運転に切替える

ことを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の地絡検出装置。